

議 事 録	作成日	令和 6 年 3 月 28 日
	作成者	加藤

会議名	さいたま市シニアユニバーシティ北浦和校第 19 期校友会理事会（令和 6 年 3 月度）
日 時	令和 6 年 3 月 28 日 午後 2 時 00 分～午後 3 時 30 分
場 所	浦和コミュニティセンター 15 集会室(パルコ 9F)
出席者 (敬称略)	尾形、森川、船崎、加藤、藤原、永島、原山、瀧澤、野瀬、菊地、新、湯浅、小林 川岸、麻生、 以上、出席者 15 名 (宮村、内田、桑原、堀口、中島、神谷、梅野、宇野 以上、欠席者 8 名)

次 第 (順不同)
1.会長挨拶 2.理事自己紹介及び新理事紹介 3.今年度事業報告及び決算見込みについて 4.来年度役員&執行部体制について 5.来年度事業計画及び予算について 6.クラブ活動等の報告 7.HP 等連絡網の充実について 8.その他
以上

決定事項・課題等 (順不同)
1.会長挨拶より <ul style="list-style-type: none"> ・ 日頃の校友会活動への協力に対する感謝の念と、当 19 期校友会に関する近況報告があった。 2. 理事自己紹介及び新理事紹介 <ul style="list-style-type: none"> ・ 現役員の自己紹介の後、退任予定の船崎副会長並びに野瀬理事候補の紹介を行った。 3.今年度事業報告及び決算見込みについて【第 1 号及び第 2 号議案】(森川、藤原) <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和 5 年度事業報告では、特に、さいたま市主催<浦和おどり>の参加実績 5 人、赤い羽根募金活動の実績¥16,000 程、独自イベント「浦和競馬場見学会」の活動内容とその評価の報告が行われた。 ・ 令和 5 年度決算報告では、大きな問題点は無かったが、次年度予算(案)との関係で、計上日に起因する次期繰越額の単純な金額相違の指摘があり、これを修正する。 4. 来年度役員&執行部体制について【第 3 号及び第 4 号議案】(森川) <ul style="list-style-type: none"> ・ 役員については、退任する船崎副会長の後任に、現監事の瀧澤が、空席となる監事には新理事候補の野瀬がそれぞれ当たり、他は変わらず。 ・ 執行部会では、上記と同様の理由で、企画部副部長に瀧澤が、クラブ活動部副部長に野瀬が当たる。 5.来年度事業計画及び予算について【第 6 号及び第 7 号議案】(森川、藤原) <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業計画案の中の「クラブ活動の推進」では、新たに<盆踊り愛好会>立ち上げの説明があった。 ・ 「19 期校友会の自主事業」について、来期の早い時期に見学会(埼玉スタジアム&スーパーアリーナ見学ツアー)を予定しているほか、映画上映会等も模索中である。
次項へ

前項より

- ・「19期校友会の『ホームページ』を通じてイベント等の紹介」、「ネット環境を整備活用し、会員相互のコミュニケーションを更に円滑にする」では、共通する問題点が指摘された。
一つには、一斉メール配信で不達となるケースが依然解消されていない点。二つ目は、ネット環境にない会員に対するフォローの問題である。
- ・メールアドレスの問題については、手間を惜しまず総会やイベント、クラブ活動を通じて対象者の塗りつぶしを行うものとする。
- ・ネット環境にない会員に対するフォローについては、クラブ活動を通じて情報の伝達をお願いすることとするが、それも難しい方に対しては、役員会議等の議事録やホームページのスクリーンショットを定期的に郵送することで問題解消に務めることとする。
- ・令和6年度予算案については、特になし(上記3.決算案の中で指摘済み)。

6.クラブ活動等の報告－資料d.参照（原山）

- ・クラブ活動の参加資格について、家族等会員以外の者についても参加が可能である旨の説明があった。

7.その他、質疑応答

①19期校友会を巡る報告について

- ・当19期巡る関係団体として、直近に「北浦和協議会」があり、さらにその上部団体として「校友会連合会」がある。その連合会傘下には、北浦和協議会の他に、東浦和、大宮、北大宮、岩槻の5団体が属していて、各協議会にはそれぞれの年代別校友会が属している。
- ・今回の報告内容は、当19期が属している北浦和協議会が、今期を以てその上部団体の校友会連合会から脱退を決めたことの報告である。脱退理由としては、連合会関係の事業内容と各協議会独自事業とに重複するケースがあつて、その手伝いに負担があること。その負担を軽減するように進言するも叶わず運営方針も独断的ではとの意見や、経費処理などで軋轢が生じたためとしている。
- ・連合会脱退によるデメリットでは、機関紙「さくらそう」の配布が無くなる。そのほか同会が実施する演芸会その他のイベントには参加できなくなるが同様の企画は北浦和協議会でも実施しており、そもそも応募状況も少なくほとんど影響は無い。また、同会への上納金と傘下交付金を比べた場合には、むしろプラスとなる。

以上

資料	a.「理事会 次第」 b.「令和5年度総会 次第」 c.「令和5年度総会 議案書」(全4枚) d.「第19期校友会 クラブ紹介」	次回予定	別途案内
----	---	------	------